

あやめ池学園南

9 条の会

発行者 太田祐嗣 疋田町5-500-39

11月12日

「ギターと歌声とお話と」 287名がつどう！

11月12日（日）夜、三百名の会場、学園前ホールは、開場前に二百人以上が詰めかけ、熱気で、寒さを吹き飛ばす勢いでした。

増井一友さんの素敵なギター、やわらかく心が和みました。

中橋怜子さんのきれいな声で、透き通ったソプラノには、秋の郷愁を感じました。



木津川 計さんの『優しさとしての文化』を語る「は、」さすがだ。ゆつくりと簡潔にしてわかりやすく聞き取りやすい「お話でした。国民的人気について、アニメー「鉄腕アトム」。映画ー寅さん。漫画ーサザエさん。漫才ー秋田実。



喜劇ー藤山寛美。歌ー美空ひばり「川の流れのよ

うに」等々を例に挙げながら詳細な解説が行われました。なぜ戦争に反対するのか、四点にわたってお話を大事にする文化が、戦

あやめ池学園南からは 60名が参加

開会は登美ヶ丘、閉会はあやめ池学園前の代表世話人から挨拶があり、鹿ノ台校区交流会、富雄、平城ニュータウン、吉田病院の6つの九条の会の共催として行われました。あやめ池学園南九条の会からは、参加協力券の普及と当日券の合計60名が参加。

寄せられた感想

62歳の女性「九条の会

後の文化であり、平和憲法と切っても切れない関係にあり、対極にあるのが戦争である。だから私は戦争に反対する。会場からは、共感の拍手が沸き起こり閉会しました。（映像とお話しはホームページに掲載中）



あやめ池学園南からは 60名が参加

はじめで知りませんでした。世界中で戦争のないことを切に願います。武器を製造する産業がなくなります様に！個人の権利に走らないように！お互いに相手の身になって生きる様に！日本の平和憲法をずっと守り続けて行きたいです。」

50代の女性「憲法九条はぜひ守って下さい。九条の会を支持させていた

もお話も大変心を打たれました。これも、平和な日本だからです。この平和がいつまでも続くよう頑張ります。」

六つの会を代表しての あいさつ

昭和24年、私は福岡のど真ん中にある小学校に通っていました。台湾で校長をしていた年配の校長先生は、『自分は沢山の子どもを戦地に送り出して殺してしまつた。戦争ほどむごいものはない』と口癖のように言っておられました。

ある日、目をキラキラ輝かせて『みなさん、今の憲法は素晴らしい。もう日本は戦争をするとは絶対ありません。この憲法第九条に戦争の放棄が明記されているので』というや涙をポロポロ流されたのです。

私はこんなに涙を流す大人を見たことがありませんでした。そして、この涙のきらめきを忘れることはでき

ません。今日のご参加まことにありがとうございます。これからも九条を護る活動にご支援を心よりお願いいたします。

秋山勝彦（登美ヶ丘九条の会代表世話人）

10月22日 30名が熱心に討論

教育勅語と戦前の教育は国家による教育支配、教育の手段化がもつとも成



功した例。教育基本法をいま、なぜ、どのように変えるのかを話し合いました。社会・国家が、「いま」をどうとらえ、どのような「未来」を築いていこうとするか子どもたちにとの未来を用意しようとするのが問われています。詳しくはホームページに掲載中！